

# 委員会の審査から

市議会には、4つの常任委員会が設置されており、本会議で付託された議案・請願等、各所管事項について詳細にわたり審査を行いました。その中から、各委員会の主な審査状況をお知らせします。

## 企画総務

### 町田市手数料条例の一部改正

**委員** 新設された手数料とはどのようなものか。  
**担当者** 建築基準法が一定規模以上の建物について、市で建築確認を受けた場合や民間の確認検査機関で確認を受けた場合についても、東京都の指定する機関に、その構造の適合性について判定を受け

### 町田市職員定数条例の一部改正

**委員** 助役から副市長に名前が変わるが、権限や仕事の身は変わるのか。  
**担当者** 地方分権で、複雑多岐な事務になってきたので、長の命を受けて政策及び企画

### 洪水ハザードマップ作成・配付委託料

**委員** 場所の選定が非常に難しいと思うが、作成はどのようになるのか。  
**担当者** 東京都で浸水予想区域の調査をしており、すでに境川流域については発表

るといふ法制度に変わりました。手数料は、市へ一たん納めてもらい、市の手数を差し引いてから適合性の判定機関に支払います。  
**委員** この手続きを踏んで耐震性に問題が出た場合、この責任は町田市にないか、理解してよいのか。  
**担当者** 今の法制度は、町田市に建築確認が出された場合、判定機関の結果を含め、町田市が建築主が責任を負うということになっています。

をつかさどる点や、事務の一部について委任を受けるということが、新しい規定の中に盛り込まれています。  
**委員** 収入役には地方自治体の会計事務を管理するといふ重要な役割があると思うが、その機能が廃止された後、どのような形で担保されるのか。  
**担当者** 会計職員あるいは会計管理者に変わるが、会計管理者を補佐するための組織を置くことができるのは今ま

されています。現在、鶴見川流域について作業をしており、今回その二つの流域のハザードマップを作成する予定です。  
**委員** 今回はあくまで河川ということなのか。  
**担当者** 低地がどの程度浸水するのか、避難路、避難場所が使えるのか、今回そういうことを図示してわかりやすいハザードマップを作ります。

## 保健福祉

### 行政経営改革推進費

**委員** 病院事業改革調査委託料について、委託しないで病院職員の判断でできないのか。  
**担当者** 今年度の四月に経営企画室を創設し、現下の医療環境での病院経営管理というものを確立すべく努力しているところですが、さらに、診療報酬の改定、医療制度改革等を含めて、とりわけ二期・三期増改築工事は起債事業になるため、多方面から検討できる経営管理が求められ、そういうシンクタンク的な部分でコンサルタントを導入したい。

行政経営改革推進費  
**委員** 病院事業改革調査委託料について、委託しないで病院職員の判断でできないのか。  
**担当者** 今年度の四月に経営企画室を創設し、現下の医療環境での病院経営管理というものを確立すべく努力しているところですが、さらに、診療報酬の改定、医療制度改革等を含めて、とりわけ二期・三期増改築工事は起債事業になるため、多方面から検討できる経営管理が求められ、そういうシンクタンク的な部分でコンサルタントを導入したい。

行政経営改革推進費  
**委員** 病院事業改革調査委託料について、委託しないで病院職員の判断でできないのか。  
**担当者** 今年度の四月に経営企画室を創設し、現下の医療環境での病院経営管理というものを確立すべく努力しているところですが、さらに、診療報酬の改定、医療制度改革等を含めて、とりわけ二期・三期増改築工事は起債事業になるため、多方面から検討できる経営管理が求められ、そういうシンクタンク的な部分でコンサルタントを導入したい。

**委員** 調査の重点、重点的部分は病院のどこか。  
**担当者** 主に地方公営企業法の全部適用を検討すること

行政経営改革推進費  
**委員** 今年度の四月に経営企画室を創設し、現下の医療環境での病院経営管理というものを確立すべく努力しているところですが、さらに、診療報酬の改定、医療制度改革等を含めて、とりわけ二期・三期増改築工事は起債事業になるため、多方面から検討できる経営管理が求められ、そういうシンクタンク的な部分でコンサルタントを導入したい。

行政経営改革推進費  
**委員** 今年度の四月に経営企画室を創設し、現下の医療環境での病院経営管理というものを確立すべく努力しているところですが、さらに、診療報酬の改定、医療制度改革等を含めて、とりわけ二期・三期増改築工事は起債事業になるため、多方面から検討できる経営管理が求められ、そういうシンクタンク的な部分でコンサルタントを導入したい。

## 文教生活

### 情報誌作成委託料

**委員** 情報誌の発行回数、広告の掲載、情報誌の配布場所、および委託内容は。  
**担当者** 情報誌の発行回数は、二〇〇七年度に三回、二〇〇八年度以降は年四回を予定しています。広告は、委託先で募集してもらうことになります。配布場所は、町田市の公共施設や広告掲載に協力

していただいた商店などを予定しています。委託内容は、企画、編集、印刷、配送まで、町田市から行政情報を提供し、民間の視点で記事を編集していただく形で協議を進めています。  
**委員** 広告を掲載する理由は何か。  
**担当者** 情報誌の発行に関しては、折り込みの経費は持たないとしています。また、タブロイド判と違い印刷単価も上がります。その中で町田市からの出費を抑えるため、広告を掲載していただき、広告収入を収益として計上していただくことを考えています。

町田市体育施設条例の一部改正  
**委員** 野球場の利用時間は一単位二時間だが、グラウンドの整備や整地の時間などを考慮して三時間にできないか。  
**担当者** 一単位当たり二時間の利用で、一日五単位利用できます。一単位当たりの利用時間を増やすと、一日の利用単位数が減少してしまうため、検討したいと思います。

民間交番運営費補助金  
**委員** 補助金の内容は何か。また、ボランティアの活用に対して考えはあるのか。  
**担当者** 補助金の内容は、人件費が約三三〇万円、その他が電気、水道などの使用料です。また、ボランティアの活用ということで、二〇〇六年度はNPO団体一団体の協力をいただいております。NPO団体等から大きな協力がいただければと考えています。また、民間交番のあり方につ

## 都市環境

て検討会を立ち上げて方向性を探っています。  
**委員** 設置する場所はどこか。また、使用方法の講習会は実施されるのか。  
**担当者** 市内の小中学校すべてに設置します。四月には各学校で説明会を行います。

町田市原町田一丁目自動車駐車場に関する条例の一部改正  
**委員** 駐車料金について、最初の三〇分まで一五〇円と設定した根拠は何か。二〇分一〇〇円にできないのか。  
**担当者** そのような考え方もあるかと思いますが、現在二時間、一時間、三〇分の三種類のパーキングカードを発行し、相当数が出回っている関係で、最小単位を三〇分とせざるを得ないためです。

町田市原町田一丁目自動車駐車場に関する条例の一部改正  
**委員** 駐車料金について、最初の三〇分まで一五〇円と設定した根拠は何か。二〇分一〇〇円にできないのか。  
**担当者** そのような考え方もあるかと思いますが、現在二時間、一時間、三〇分の三種類のパーキングカードを発行し、相当数が出回っている関係で、最小単位を三〇分とせざるを得ないためです。

町田市原町田一丁目自動車駐車場に関する条例の一部改正  
**委員** 駐車料金について、最初の三〇分まで一五〇円と設定した根拠は何か。二〇分一〇〇円にできないのか。  
**担当者** そのような考え方もあるかと思いますが、現在二時間、一時間、三〇分の三種類のパーキングカードを発行し、相当数が出回っている関係で、最小単位を三〇分とせざるを得ないためです。

中心市街地活性化施設整備  
**委員** 用地・建物購入費について、一〇億円以上の費用を支出して購入する目的や、購入価格の算出根拠及び事業計画はどうなっているのか。  
**担当者** 現行の旧は・る・るプラザ町田については、年間約三六万人から、多いときで四〇万人の利用者がありました。平成一七年度についても早い時期に映画館の営業は終了していたものの三六万人の利用者があったことを前提に考えると、今後中心市街地の中での集客施設の大規模となる施設と考えています。核となる施設を加えず、現状をベースに考えていきたい。また、積算の根拠は基本的には日本郵政公社との協議の中で行ってきていますが、土地、建物については、あくまで不動産鑑定に基づいた金額で交渉を行っています。

中心市街地活性化施設整備  
**委員** 用地・建物購入費について、一〇億円以上の費用を支出して購入する目的や、購入価格の算出根拠及び事業計画はどうなっているのか。  
**担当者** 現行の旧は・る・るプラザ町田については、年間約三六万人から、多いときで四〇万人の利用者がありました。平成一七年度についても早い時期に映画館の営業は終了していたものの三六万人の利用者があったことを前提に考えると、今後中心市街地の中での集客施設の大規模となる施設と考えています。核となる施設を加えず、現状をベースに考えていきたい。また、積算の根拠は基本的には日本郵政公社との協議の中で行ってきていますが、土地、建物については、あくまで不動産鑑定に基づいた金額で交渉を行っています。

中心市街地活性化施設整備  
**委員** 用地・建物購入費について、一〇億円以上の費用を支出して購入する目的や、購入価格の算出根拠及び事業計画はどうなっているのか。  
**担当者** 現行の旧は・る・るプラザ町田については、年間約三六万人から、多いときで四〇万人の利用者がありました。平成一七年度についても早い時期に映画館の営業は終了していたものの三六万人の利用者があったことを前提に考えると、今後中心市街地の中での集客施設の大規模となる施設と考えています。核となる施設を加えず、現状をベースに考えていきたい。また、積算の根拠は基本的には日本郵政公社との協議の中で行ってきていますが、土地、建物については、あくまで不動産鑑定に基づいた金額で交渉を行っています。